

南白小の未来をえがく！

～子供たちの未来が明るくなるように～

令和6年10月1日

府中市立南白糸台小学校

校長 西尾 克人

校長室だより 第6号

3年生特集…中学年らしくなってきました

夏休みを過ぎると、どの学年もその学年らしく体も心も大きくなります。3年生も同様に成長しています。語彙力も高まり、友達とかかわることを楽しむ学年で、ギャングエイジと呼ばれる時期です。自分だけでなく、いろいろなことを客観的に見られるようになる時期でもあります。この時期に友達とよりよくかかわる術（すべ）を身に付けてほしいと思います。

本校の校内研究では、学習過程に特徴的な言

葉を使って授業を進めています。「じっくりタイム」、「わいわいタイム」、「なるほどタイム」の3つの時間です。自分の考えをもち、友達と交流することで、「思考力・判断力・表現力」を身に付けていきます。校内研究では算数で取り進めています。全ての教科で使える学習過程です。

「じっくりタイム」…自分でじっくり考える時間

「わいわいタイム」…席から離れ友達と交流する時間

「なるほどタイム」…学級全体で話し合う時間

3年…国語「ポスターを読もう」

全国学力・学習状況調査の結果から、南白小の子供は「文章を正しく読み取り、自分の考えが伝わるように表現すること」が苦手な傾向にあります。この授業で取り組んだような学習を積み重ねていくと、「読み取ること」も「自分の考えを書くこと」も向上していくと思いました。

まず、ポスターとは何かということについて考え、教科書の文章をじっくり読み取りました。「知らせたいことを1枚にまとめたもの」がポスターであると確認し、自分の考えをノートに書き込んでいきました。

学習に取り組む姿勢が身に付いた、素敵な子供の姿を見ることができました。

ノートにしっかり書き込む

3年生…算数「かけ算の筆算」 25×10 の計算

25×10 の計算を考えることが、今日の課題です。既に習っている計算は「 $20 \times 20 = 200$ 」、「 $5 \times 10 = 50$ 」です。これらの既習の内容を使って、新しい計算を解いていくことで、算数の力を付けていきます。

「じっくりタイム」の前には、「25を10回たす」、「25を10と5に分けてそれぞれ10倍し、答えをたす」など作戦を考えてから取り組みました。「わいわいタイム」では、楽しそうに考えを交流していました。位ごとにかけていくという、筆算の基本的な考えを理解できました。

わいわいタイム…友達とかかわる

3年生…算数「かけ算の筆算」 23×3 の計算

23×3 の答えを求める学習です。まず、作戦を考えます。習熟度別コースで学習しているので、コースによって作戦も違ってきます。

習熟が速いコースでは、3つの作戦が出ました。①さくらんぼ図（位ごとに分けて考える）、②23個の○を3列かく、③お金の図です。今まで学んできた問題を解決するための思考のツールです。このツールを使いこなしていくことも大切な学びです。

3年生は、お金の図を使う子供が多かったです。具体的に生活場面を想起しやすいからでしょう。23円は10円玉2枚と1円玉3枚です。 $20 \text{円} \times 3 = 60 \text{円}$ 、 $3 \text{円} \times 3 = 9 \text{円}$ 、 $60 \text{円} + 9 \text{円} = 69 \text{円}$ 、だから $23 \text{円} \times 3 = 69 \text{円}$ と答えを出していきました。じっくりタイムでは2つも自分の考えをかく子供もいました。「なるほどタイム」では、筆算の基になる「位ごとにかけていく」ことをまとめに書くことができました。

じっくりタイム
…自分の考え
を表現する

なるほどタイム…そうか、なるほど